

With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

高森荘からの情報発信 ウィズ

vol.48



2022.12/1

発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1

TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812

E-mail: f0720@amber.plala.or.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏



ある日の高森荘

不在者投票

7月6日、高森荘では参議院議員通常選挙の不在者投票が行われました。

高森町選挙管理委員会から立会人の方もお願いし、緊張感漂う雰囲気の中、皆さん真剣に大切な一票を投じられていました。

今回は長野県選出議員と比例代表選出議員の投票がありましたが、混乱がないよう細心の注意を払いながら無事終えることができました。

育成会交流会代替行事「ボタニカルキャンドル作り」

毎年地域の方々と活動を通して交流を深める育成会交流会ですが、残念にも今年もコロナの為代替行事となりました。

そのような状況でしたが、目一杯楽しもうとボタニカルキャンドル作りに挑戦しました。グラスにドライフラワーや貝殻等を入れ、カラーワックスを注いで完成です。自分専用のボタニカルキャンドルができ、利用者の皆さんも満足そうでした。

後日、点火しその灯を鑑賞し、引き続きは花火大会と炎の美しさを堪能しました。

次回は是非、地域の皆さんと一緒したいと願っています。



「人生会議」講演会

「意思決定支援」とは、自分自身がしたい(と思う)意思が反映された生活を送ることが可能となるような支援やその仕組みのこと。真摯に取り組まなければならないこの支援について、昨年度から利用者の皆さんを交え学習会を始めている。

このことに関連し今問われているのが、人生の最終段階における医療ケアの決定手続きについて。「事前指示書」、「ACP」、「人生会議」、重いテーマであり長年の懸案事項。内部だけでは煮詰まり、悩んでいたところ、町内の後藤医院の後藤暁先生が、住民対象に医師会の活動で「人生会



議」の講演をされておりお聞きする。早速、事業所対象の講演会を依頼し、職員対象に7月23日、利用者対象に11月24日開催する。

これを機に当事者双方が理解を深め、ケアプランやカンファレンスに反映できればと考えている。自らの命、最後をどうするかは万人共通の課題。しかし、誰もが避けたい触れてほしくない事案でもある。「多死社会」は始まったばかり、話し合うそのプロセスが大切。分かりやすい内容は、今なぜ必要かの理解に繋がったものと信じている。



看板新設

国道13号線沿いの施設看板が老朽化してきたため、施設敷地内に新設しました。来所される際はこちらの看板を目印にお越しください。



CO2センサー導入

新型コロナウイルス対策としてCO2センサーを導入しました。

感染リスク低減のためには手指消毒などによる基本的な対策に加えて、ウイルスが滞留しづらい空間を作ることが必要であるとされています。CO2センサーにより二酸化炭素濃度を測定することで換気の目安を把握し適切な換気を行うよう心がけています。



秋祭り・運動会代替行事

今年も例年同様感染症対策の為、入所利用者・通所利用者それぞれに分かれての行事開催となりました。今年は坊主めくりと黒ひげ危機一髪を行いました。それぞれチーム戦で行い、終了後に食べるアイスクリームのトッピングを賭けて勝負をしました。どちらのゲームも一度はやったことがあるゲームで利用者の皆さんも懐かしんで頂けたと思います。コロナ禍のため全員で一緒に楽しむという事がなかなかできませんが、久しぶりに皆さんの笑顔と笑い声が響いていました。当日は少し肌寒い日でしたが最後に皆で食べたアイスクリームの味は最高でした！



アルコールチェック

運転する従業員に対するアルコールチェックが義務化されることに伴い、体温測定とアルコール検知を同時に行える非接触型検知器を導入しました。運転手は通所送迎の前に測定をし管理者にチェックを受けています。



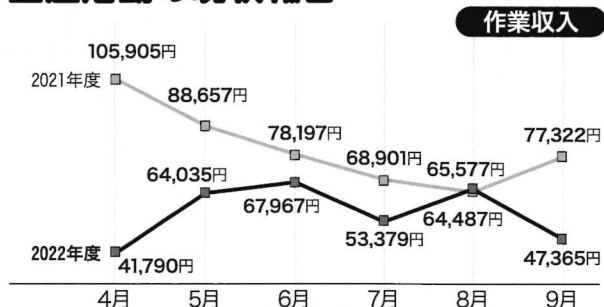
カスマーハラスメント研修

高森荘では昨年度より、利用者・職員を対象にハラスメント研修を行っています。今回は「ハラスメントとは何でしょうか？」と今までの復習もかねて説明後、事例をあげてグループワークをしてもらいました。意見、感想が飛び交い時間が足りないくらいでした。ハラスメントは身近な問題でありあつてはならないことです。研修などを行い施設全体で考え理解を深めていきたいと思えます。

生産活動

コロナ禍での感染症対策のため、作業室では通所の方が主になって生産活動をやっており、入所の方はなかなか生産活動をするスペースがなかったのですが、新しい受注が入ってきたことを期に思い切って居室棟に作業ができるようにスペースを作りました。昔のように全利用者が一丸となって…とはいきませんが、参加している方はいきいきして受注をこなしています。これから居室棟のほうももっともつと活気づいていきそうです。

生産活動の現状報告 (上半期) ~前年度との比較~



2022年 6月~11月 行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



530運動



夏季 火災避難訓練



地震総合防災訓練



地震総合防災訓練



水害移送訓練



7/25 夏季 火災避難訓練

育成会交流会 代替行事



秋祭り・運動会 代替行事

5/25 530運動

6/7-13 水害移送訓練

8/4-5 育成会交流会 代替行事

9/5 地震総合防災訓練

10/6 秋祭り・運動会 代替行事

11/7-18 水害移送訓練

アルプスサーモン

10月19日、高森町ご当地グルメ検討委員会の皆さんがアルプスサーモンを提供して下さいました。毎年違ったメニューを考えて下さり、今年で5年目になります。

身が柔らかく脂がのついで美味しいと利用者の方々に好評で、魚料理が苦手な方もこの魚は美味しいと完食されていました。

コロナ禍のため外部の方との交流ができず残念ですが、毎年利用者の皆さんを気にかけて下さりうれしく思います。



実習・研修の受け入れ

● 8月22日～8月29日
飯田女子短期大学
給食管理実習 1名
● 11月10日～11月25日
飯田女子短期大学
介護実習 2名

在りし日を偲ぶ

8月、阿南町の勝又俊彦様より一本の電話。一年前に亡くなられた利用者のお兄様。「職員はどれくらいだったかな？」の問い合わせ。その後お盆を前に、信濃町産トウモロコシが段ボール箱単位でたくさん届きびっくり仰天。急ぎ電話を繋ぐと、「お世話になりましたでな」のひと言。そうか、新盆、一周忌。ぶっきらぼうなもの言い、でも実は心優しい人。よく働いた彼、その笑顔を偲ぶ一日となりました。



編集後記

かつてないスピードで感染が拡大した「第7波」。一時減少傾向になった時期もありましたが再び増加に転じており、気の抜けない日々が続いています。

今後の状況によっては面会外出などに制限を設けさせていただきます。何かあるかと思いますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。